



おにぎり通信

2022年8月27日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

今日8月27日は「益軒忌」、江戸の儒学者・貝原益軒が亡くなった日です。代表作である「養生訓」において益軒は、健康を保って養生するには、「畏」という字が大切である、いつも天道を畏れて慎んで従い、人欲を畏れて慎んで我慢する、と言います。食べ過ぎず飲み過ぎず、寝ることを好まず、よく努力してからだを動かし、色欲を慎み、心を安らかに気を平らかにして、怒らず静かにして、憂いと思いを少なくする。益軒曰く、こうして欲を抑えるが元気を養う道だそうです。これができれば、苦勞しません。。そして、人生は五十にならないと、知恵は開けず、言う事に間違いが多く、行いに悔いを残すことが多く、人生の道理も楽しみも知らない。だから、養生して長生きすれば、楽しみ多く益が多い、とのこと。

福祉行動を希望の方は、おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌週以降に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階



おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ



おにぎりは、お1人1個で、その日のうちに召し上り下さい



四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会
連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)

【ホームレスの実態に関する全国調査（生活実態調査）】

5年に一度のホームレス生活実態調査が行われ、東京23区についての報告がありました。平均年齢は65.1歳で、60歳以上が7割を超えています。寝ている場所が決まっている人が9割以上で、「河川」が32.2%で最も多く、「公園」が24.3%、「道路」が18.5%と続きます。段ボール等でテントや小屋を設置している人が45.0%と半数近く、簡単に寝袋や毛布を敷いて寝る人が27.2%、段ボール等で寝場所を毎晩作っている人が20.6%となっています。

仕事をしている人は約半数の52.7%で、アルミ缶や段ボール等の「廃品回収」が65.5%と多くを占めています。廃品回収の月収は、平均で約16,000円です。路上生活の期間は、3年以上になる人が約8割、10年以上に及ぶ人が4割以上と、長くなっています。

困っていることは、雨や寒さが16.1%と最も多く、食べ物が無い、入浴・洗濯ができない、がそれぞれ11.2%で続いています。

健康状態は、6割が「たいへんよい」「よい」とする一方で、4割が「あまりよくない」「よくない」と回答しています。体調がよくなっても病院に行かない人が64.2%と多く、その理由として「保険証がない」「お金がない」といったことが挙げられています。

福祉制度を利用した経験では、福祉事務所への相談42.6%、生活保護30.3%、巡回相談員への相談24.7%、シェルター12.8%、自立支援センター11.6%となっています。民間団体の支援を利用した経験では、炊きだし51.0%、衣類等の配布28.7%、見回り27.4%となっています。今後望む生活として、約半数（47.5%）は「今のままでいい」と回答している一方で、「アパートに住み、就職して自活したい」（13.4%）、「アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつきたい」（11.9%）「何らかの福祉（生活保護や施設入所等）を利用して生活したい」（6.3%）という人もいます。